

PTA活動紹介		部門	特別支援
学校名	愛知県立いなざわ特別支援学校		No 1
活動テーマ	地区別懇談会		
開催日	平成27年9月3日(木)、18日(金)、25日(金)、28日(月)		
場所	清須市総合福祉センター(3日)本校会議室(18日)尾張中部福祉の杜(25日) 一宮地場産業ファッションデザインセンター(28日)		
時間	午前10時から正午まで(28日のみ午前9時30分から正午まで)		
参加者	保護者及び福祉事業所	内訳	3日 保護者18名 18日 保護者47名、13事業所、1企業 25日 保護者22名 28日 保護者46名、18事業所
趣旨	いなざわ特別支援学校に通う児童生徒の居住地区(稲沢市、一宮市、清須市、北名古屋市、豊山町)ごとで相談支援状況の違いや障害福祉サービスの格差がある。各地区ごとで相談会を実施することで、保護者がそれぞれの居住地における体制等について知るとともに、居住地区の福祉事業所の方と直接話をして具体的な活動内容等について聞き、相談することにより、卒業後の進路選択に役立てる。		
活動ポイント	卒業後の進路選択に向けて情報を収集する。		
主体委員会名・講師名等	3日 講師:多機能型事業所とけいだい 所長 石井 洋子氏 18日 アドバイザー:障がい者基幹相談支援センター 増山 ゆかり氏 25日 アドバイザー:前尾張中部圏域相談支援体制整備地域アドバイザー 高井 富夫氏 尾張中部圏域相談支援体制整備地域アドバイザー・相談支援センター 一尾張中部福祉の杜 所長 玉井 一男氏 28日 アドバイザー:一宮市障害者相談支援センター 野崎 貴詞氏		

【各地区別懇談会の様子】

1 清須市総合福祉文化センター(9月3日 清須市)

講演 「卒業後の進路に向けて～地域の障害福祉サービスの現状～」

(1) 障害福祉サービスについて

- ア 障害者総合支援法について
- イ 障害者の福祉サービスについて
 - ・「児童福祉法」に基づいて
 - ・「障害者総合支援法」に基づいて
- ウ 障害福祉サービスの利用申請及び支給決定について
- エ 障害福祉サービスの利用方法について
- オ 障害福祉サービスの具体的内容
- カ 卒業後の自分らしい暮らし方について



(2) 『とけいだい』の相談支援活動について

スライドや動画を交えながら、『とけいだい』が支援している方たちの様子の紹介があった。

2 本校会議室(9月18日 稲沢市)

各事業所のブースを用意し、参加した保護者が興味のある事業所のところへ行き、担当の方と直接話を進めた。稲沢市内の企業も一社参加し、相談に加わっていただいた。また、稲沢市社会福祉協議会の方をアドバイザーとし、日頃保護者が抱えている疑問点や相談に対応していただけるようにした。

参加された保護者は多くの福祉事業所の方と話し、終了予定時刻後も熱心に相談をする様子が多く見られた。



3 尾張中部福祉の杜(9月25日 北名古屋市・豊山町)

参加した保護者がアドバイザーと車座になり、高井氏からは今までこの地域で支援を進めてきて感じたことや保護者に伝えたいことを話していただいた。また、ざっくばらんな雰囲気の中で、日頃保護者が抱えている悩みごとや要望、また、子どもの発達や卒業後のこと、福祉サービスに関することなど多岐に渡り相談が行われた。



4 一宮地場産業ファッションデザインセンター(9月28日 一宮市)

稲沢市同様、ブースを用意し、参加した保護者が興味のある事業所の所へ行き、担当の方と直接話をする方法をとった。内容としては、事業所の活動内容や活動時間、作業製品の紹介などが行われた。また、実際に作業製品を提示したり参加者向けに販売したりした事業所もあった。就労移行支援事業所、就労継続支援A型・B型、生活介護の事業所などのグループごとにコーナーを設置し、参加した保護者がコーナーを回りやすいように配置して相談できるようにした。トータルアドバイザーとして一宮市障害者相談支援センターの方にも参加していただき、どこに相談すればよいのかや、制度や利用方法等のアドバイスもいただいた。



5 保護者の感想

- ・ 事業所の情報を得るだけでなく、アドバイザーに制度等について相談できて良かった。
- ・ 福祉サービス事業所を利用するためには、親の会の活動に参加するとよいと聞いているが、いつから活動に参加するとよいかなど具体的な話を聞けたのは良かった。
- ・ 数年前に比べ、利用できる事業所の数が随分増えており、子どもや家庭の状況に応じて選んで利用できるようになった。
- ・ 小学部段階から進路を見据えていきたいので、福祉サービス事業所についてのアドバイスがしてほしい。
- ・ 直接事業所の方と相談をすることで、利用したいというニーズが伝わるので、良い機会であった。
- ・ 就労に向けた力を付けることは小学部段階から必要であることが分かった。そして、それは普段の生活の中で身に付けていけることであると感じた。また、ただ、力を付けることだけを考えて子どもに接するのではなく、子どもらしく楽しめる経験もたくさんさせてあげたいと改めて感じた。
- ・ 市町ごとに行ったため、家から近い場所で開催され、参加しやすくてよかった。

PTA役員からは、「来年度以降もこの活動を続けていきたい」という声が上がっている。